

平成27年度教育学部学生モニター会議(会議実施日:平成27年12月10日)

項目	学生の要望等	各部署の回答	対応等の追記
1	M1生だが、大学院長期履修制度の カリキュラムについて、介護等体験や教育 実習の時期など詳しいことが知ら されていない。	(教育コーディネーター) 長期履修制度の細かいことは指導教員と相 談して決めることを想定しているので、指導教員と計画を立ててほし い。 (学部長) 長期履修制度はいろいろな事情の人がいるので、3年間 のカリキュラムを確定しないことで受講しやすくしていると、理解して ほしい。 (実習カリキュラム委員会) 長期履修の教育実習はM2以降と「履 修の手引き」に記載してあります。	
2	特別活動論の授業を教育実習後に 受けているが、教育実習の前でない と授業の意義が乏しいのではない か。	(教務委員会) 来年度カリキュラムが変わるので、新カリキュラムで は教育実習前に履修すべきものはそうなるように、できるだけ配慮し たい。なお、特別活動論は、H28年度入学者から2回生後期に開講さ れるようになります。	
3	同じ名前の授業なのに、担当教員が 違うと授業内容が異なる場合があ る。同じ名前の授業は内容を統一す べきではないか。	(教務委員会) 個別の授業については、そういう要望があったことを 担当教員に伝える。 (学部長) 大学の授業は、同じ授業科目であれば小・中学校のよう に内容が一律となるものではない。大学によって内容に違いがある のは当たり前でもある。違いがあまりに大きいときには、教務委員会 の指摘のように対応はするが。	
4	少人数の授業なのに教室が大きすぎ て、受講しづらいので改善してほしい。	(教務委員会) 人数がもっと少なければ演習室を使うこともできる が、普通教室はバランスが難しい。担当教員も適正な教室を要求し ているが、あふれることがないようにするのが優先で、現状、大は小 を兼ねるということになっている。可能な限り調整はしていきたい。	
5	新課程の学生について、卒業時にほ しい教員免許がとれない状況にあ る。ころざしのある学生には、卒業 時に免許がとれるしくみにしてほしい。	(学部長) これは免許法の法律上できないようになっていて、わたし 達ができないようにしているのではないのです。	
6	来年度のカリキュラムについて、副 免がとれるのか心配だが、副免をと れるようにしてほしい。	(教務委員会) 副免の教育法については、カリキュラム上3、4年次 にはとれるように配慮している。ただし、各教科の専門の授業の置き 方は教科によって異なるので、どの副免も一律にとれることは保障で きない。教育法の置き方の配慮はしている。	
7	4年間を見通して免許をとるための 受講の予定を立てていた人にとっ て、来年度カリキュラムが変更され ると予定がくらくことになるが、来年度 の新カリキュラムで授業の変更は多 くなるのか？	(教務委員会) 新1年生の授業はもちろん変わることになるが、2年 生以上の人の授業についてはいままでと変わらないような時間割を 考えている。ただし、共通教育の時間割も変わり、全学の授業が優 先されるので、いままでと異なる時間割になる可能性はある。できる だけ変わらないようにしたい。	
8	総合人間形成課程の1回生向けの 授業を2回生以降で受講しようと思 っていた。来年度この課程がなくな るとき、そのような授業の取り方はどうな るのか。	(副学部長) 「人のくらしと自然」は1年次開講の必修科目だが、情 報教育コースは時間割の関係で2年次に受講してもらうことになっ ていた。このような必修科目については、時間帯はかわるかもしれない が、来年度開講する予定です。他にそのようなことが無いか確認して みる。 (教務委員会) 授業に関しては開講される場合もありますし、他の 授業を読み替えるという形で対処する場合もあり得ます。	(副学部長) 該当授業科目について、再度確認を行 い対応をした。
9	授業のシラバスと実際の授業が違っ ているものがあり、シラバスが参考 にならない。	(学部長) シラバスについては、私の方から全教員にしっかり伝えま す。	(学部長) 12月の教授会において周知し、確認を促 した。
10	3年次後期になると授業の時間割に 余裕が出てくるのだが、この時期に 教員採用試験対策に特化した授業 をたくさん設けてほしい。	(学生就職委員会) 学生就職委員会では、授業という形ではない が、就職支援課と連携して教職試験の対策講座にかなり力を入れて 実施している。残念ながらこういう講座への学生の出席率が悪いと いうのが課題ではあるのだが、そのような講座は力をいれてやって いるし、参加料が無料の講座もあるので、是非参加をしてほしい。授 業については、当該部署の考えはどうでしょうか。 (教育コーディネーター) 授業について、現在は4年次前期開講の 教職教養課題特講が正課の授業としてあり、正課外で教職支援課 の方で行なってもらっている。新しいカリキュラムでは、正課に準ずる ものでそういうものも検討しています。 (教務委員会) 小学校の教採について、実技試験の対策を実施し ている教科・講座があるので利用して欲しい。	
11	教採対策として、各専門分野にピン ポイントで対応したものを行ってほし い。	(学生就職委員会) 専門毎の対策講座を開こうとすると、各教科毎 ということで数が非常に多くなり、実際には難しい。現在、開かれて いる講座は一般的なもので、手続きの仕方とか情報提供になっ ている。専門については各教室の授業において学んでもらいたい。た だし、個人レベルでは、各教室の学生就職委員の先生や就職支援課 の方の所に行って相談すれば、より良い支援が受けられるので、そ れを利用してほしい。	
12	教採の講座の開催を広報するた めの掲示が、古いものに重ねるよ うな方法のためか新しい情報にな ったことがわかりにくいのではない か。	(学生就職委員会) もう少し整理してわかりやすい掲示にしてい きたいと考えている。	
13	就活の講座が木曜日の16:30から 18:30の2時間で開かれていた。内容 が以前に開催されたセミナーとほ ぼ同一であった。それに加えてこの 時間帯の開講だと、どうしても5限 帯よりも遅くなってしまい普段の アルバイトなどの調整が難しい。	(学生就職委員会) 学内の教員が講師となる場合はなるべく5限帯 で終わるようなプログラムを組みたい。しかし学外講師を招く場合は どうしても遅い時間帯しかできないご都合の方もおられるのはやむを 得ない。また、定時に終わることが理想なのだが内容が豊富だとど うしても長時間を要することもある。ただ、定時に追われる日程の方 が学生が参加しやすいのではというご意見は貴重なものでありがた く活用させて頂く。内容が重なる件については、どうしても講師に細 かい内容まで要請することは難しいので結果的に同じ内容の講義が行 われることがある。	
14	昼休憩に理科の先生が実験室で会 議しており、実験室の器具を取 ったりできずに難渋することがあ る。場所を変えられないか。	(理科教育講座) これについては、教室に持ち帰って検討する。	(理科教育講座) すでに対応を検討し、会議の場所 を変更した。検討内容を学生に連絡し、了解して もらった。
15	来年度、2号館の改修工事の話をよく 耳にするが、正式な説明がまだ にない。研究で使用する予定の学 生・院生はそれでは不安なので説明 が欲しい。	(学部長) 改修工事の予算請求をしているがまだ決定したわけでは ない。もしかしたら却下されるかもしれない。本当に決定したら学生 への説明機会を設ける。	項目27を参照

16	毎年議題に上っていることだとは思いますが、夜22時以降も入棟を許可してほしい。また、22時まで許可を得ているのに30分前くらいに施錠されて困ることがあるので時間通りにしてほしい。	(学部長) 理学部や工学部は24時間稼働体制の器具機械が多いが教育学部は多いとは言えない。また女子学生の比率も高いのでやはり理学部工学部と同じにはできない。また一つの公共の建物である以上、24時間開放というのは一般的ではなく、安全管理上教育学部は22時ということにしている。22時に明確な根拠があるわけではないが、社会常識を考慮すると24時というのも遅すぎる。本学部では22時ということにしている。事前に申請があれば22時以降の入棟も非常識な理由でないかぎり許可はしている。 (事務課) 守衛さんに伝えて22時に施錠してもらうようにする。	
17	施設利用願を出したうえで使用していても3号館のエアコンは時間がくると切れる。寒いのでつくようにしてほしい。また利用願を提出して使用しているのに教員になぜまだいるのかと問われることがあるので教員にも周知してほしい。	(事務課) 電気代の問題は確かにある。学生が使用し終わって出ていったにもかかわらず蛍光灯やエアコンがつけっぱなしであったという事態が多発して、やむを得ずこの集中管理体制になったというきさつがあった。また、特定の実験室のみ個別にエアコンが使えるようにするというのは、方法がないかどうか検討はしてみるがおそらく難しいと考える。 (学部長) すべての教員に時間外利用の情報を周知するというのは現実的に困難。もし聞いてくる教員がいたら堂々と許可を得て使用していることを伝えてほしい。それでも納得しない教員が万が一いたらまた報告してほしい。	
18	授業の開講などの情報が、図書館前の掲示板のみだとわかりにくい。この時代、メールなどでの周知をはかってほしい。	(学部長、副学部長、教務委員会) 各授業担当教員が受講生に一斉メールなどの通知は現実的におこなっている。修学支援システムのメール設定がみな受信して確認できているのかが気になる。 (実習カリキュラム委員会) 履修登録が行われていない段階での情報は掲示板でしか周知方法がない。そういうものがあることも知っておいてほしい。	(学部長) 12月の教授会でメールを積極的に利用するよう周知した。
19	実習等の情報を2号館の大きな掲示板に出してほしい。	(実習カリキュラム委員会) あそこの掲示板は実習と就職関係のものを張る掲示板ということになっている。教職支援ルームの前も実際は実習関係の掲示をさせてもらっている。実習関係の掲示は2号館の大きなところ、教職支援ルーム、図書館前の3つで掲示しているので知っておいてほしい。 (教職コーディネーター) 図書館前にすべて掲示されるということは、ばらばらにあちこちに掲示されるよりも便利という考えもある。そこを何度もチェックすればすべての領域の掲示が確認できるわけだから。	
20	学生がアクセスして見られる、ウェブ上の掲示板システムをつくってほしい。	(教育支援課) 教育学部のみでできるかどうかわからない。全学との関係もあるので、持ち帰って後日返答する。	(教育支援課) 学生がアクセスして見られる掲示板システムは難しい。今後もWeb上と掲示板との二重化に努めていきますが、全ての情報を二重化することは困難ですので、授業に直接関係するガイダンスの情報は、できるだけWeb上にも公開するよう努めます。
21	2号館改修工事に伴いピアノ練習室が減ることもあり、円滑な運営のためにピアノ練習室のネット予約システムをつくってほしい。	(事務課) ネット予約については、音楽講座で検討をお願いしたい。	
22	教育学部棟にゴミ箱を置いてほしい。	(事務課) 以前ごみ箱を管理できていなかった頃と、学生の意識は変わっていないようなので、今のところゴミ箱を置くことはできない。 (安全衛生委員会) 各学生合同研究室等でゴミを処理するようになっているので、それに従って欲しい。	
23	ゴミ箱のないことがゴミの放置につながっている。一度リフレッシュルームにゴミ箱を置いて、経過を見てはどうか。	(学部長) 学生主導の当番制等の管理制度を作ってゴミ箱を置き、経過を見るのはかまわないが、管理ができなければその時点で撤去せざるを得ない。	
24	英語科学生研究室で教員採用試験の勉強をするため、2号館改修工事をその時期とずらしてほしい。	項目27を参照	
25	現在、英語教育専修の学生研究室が狭い。来年度から人数が減少する国際理解教育コースの学生研究室を一つもらいたい。	(教育コーディネーター) 新課程が無くなるにあたって、その空いた部屋をどうするかは学部で検討している。英語専修の学生研究室が狭いということは承知している。段階的に改善されることになるはず。	
26	現時点でも学習環境が不十分な教室がある。現在の新課程1回生が卒業するまでは、新課程の学習環境を保障してほしい。	(学部長) 学部の床面積は、基準によって定められており、各教科にもそれに基づいて再計算して配分している。各教科は其中で研究室や教室等の広さや配置を考えている。変革期なので難しいことが起こるのは理解するが、基本的には講座の中でどう工夫するかという問題である。	
27	新課程の学生は来年度もまだ多数在籍する。教育学部の改修を1・2年後にしてほしい。	(学部長) 改修計画については、28年度実施の予算が通らなかったため、29年度以降になる。ただ、国の予算なので、学部だけでは改修時期を決められない。	

座席表

中野 学生 就職委員	佐々木学生 就職委員	ボグダン学 生就職委員					
篠原教育支 援アドバイザー	平高総務 チームリーダー	俵原総務 チームリーダー	竹内事務 課長	佐藤教育コ ーディネーター	池野教職コ ーディネーター	小助川国際 交流委員長	
張 学生就 職委員長	石井総務 委員長	佐野副学 部長	三浦学部 長	深田 副学 部長	田中教務 副委員長	吉村実習加 キョム委員長	

(司会)藤本総務委員

二宮 (教育 学)	池田 (教育 心理)			新穂 (幼年)	武田 (国語)
西岡 (社会 科)	内田 (数学)			濱口 (理科)	中田 (音楽)
関家 (美術)	玉井 (保健 体育)			吉村 (技術)	栗原 (家政)

池本 (英語)	鈴木 (聴 覚言語)	麻生 (発 達障害)	大窪 (国 際理解)	牛島 (生 活環境)	波崎 (情報)	花田 (人 間社会)	河元 (音 楽文化)
水島 (造 形芸術)	宮本 (保育士)	珠山(院・ 理科)	馬淵(院・ 社会科)	横浜 (院・技術)	貫井 (院・音楽)	山崎 (院・国語)	奥田 (院・英語)